

ここでは、支援される人じゃない。 プロとして、育てている。

小さな町の古い軒家で、LEDの光で育つマイクログリーン。
手がけているのは、障がいのある就労継続支援B型のメンバーたち。
彼らの誇りが、この若葉の品質と価値をつくっています。

“わたしたち”が いないと、まわらない。



① この町の3つの「困った」が、宝物になった。

空き家が、使われないまま増え続けている

町のあちこちに、人の住まない家。
壊すにもお金がかかり、そのまま残る。



空き家に光を灯し、農場として再生

使われなくなった家に、毎日人が通う。眠っていた空き家が、**町の雇用と出荷を生む。**



農業が、続けにくくなっている

気候変動で栽培は不安定に。人手も足りない。
作っても、売り先に困る。



「求められるもの」を、一年中安定して育てる

プロの料理人の「ほしい」から生まれた野菜を、天候に左右されない
屋内LED栽培で、**誰でも使える仕組みが、担い手を育てる。**



障がいのある人の仕事は、単純作業と低い工賃

そもそも、はたらける場所が少ない。
あっても単純作業が中心で、やりがいは遠い。



今より高い工賃で、やりがいのある仕事を

メンバーと一緒につくった道具や、使って楽しい栽培管理システムを通じて、
一人ひとりが自分の役割を持ち、**誇りを持って働ける。**



② だから、みんなが嬉しい。

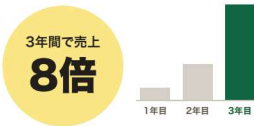
町・地域

放置空き家が、障がいのある4人の仕事と、
32店への出荷を生む場所に。



レストラン・消費者

彩り・栄養価・味。新鮮な野菜が、
いつでも同じ品質で届く。



はたらく人

快適な室内なら、季節に関係なくはたら
ける。仕事が続くから、工賃も上がる。



支援される側から、支える側へ。



NPO法人豊さん家
就労継続支援B型事業所
「あすなろ」支援員
吉田幸史さん

従来のB型就労は単純作業が中心で飽きやすく、
就労が続かないのが現実ですが、Farm Samさん
では自分から就労日数を増やすメンバーがいるほ
ど、やりがいを感ずってもらえています。ある日、
休憩室から「Farm Samは、俺がいなくてまわら
ない」というメンバーの声が聞こえ、思わず耳を
疑いました。誰かにやらされるのではなく、自分
の仕事として背負っている。これほどの責任感
は、初めて目にしました。

出典：Farm Sam 売上・取引実績（2023-2026）／厚生労働省「令和6年度 工賃（賃金）の実績」（2024）※就労継続支援B型事業所・月額を年間換算

③ 世の中が認め、広がりは始めている。

外からの評価が、集まりは始めている。

公的に、認められた

- ✓ ノフクJAS 認証
大分県初 | NKS0076
- ✓ 大分県経営革新計画認証
第1937号
- ✓ 事業継続力強化計画
認証番号20260724九州第3号

技術も名前も、知財に

- ✓ 在来作物 栽培方法 特許出願
特願2025-169703 | 大分高等と共同
- ✓ 商標登録「紫ノ芽」
登録第7000935号
- ✓ 商標出願「日和若葉」
商願2026-012686

メディアに、選ばれた

- ✓ NHK 全国放送
「列島ニュース」
2025.12 放送採用
- ✓ 九州民放7局
「世界一の九州が始まる」
2025.8 放送採用

もう、この町だけじゃない。

はじめたい、という声

1. 放送を見た他県の事業者から「うちでもやりたい」の声が届き、3つの福祉事業者と立ち上げ準備中。
2. 放送を見た他県の事業者から「うちでもやりたい」の声が届き、3つの福祉事業者と立ち上げ準備中。
3. 放送を見た他県の事業者から「うちでもやりたい」の声が届き、3つの福祉事業者と立ち上げ準備中。

市場が、後押しする

マイクログリーン国内市場の規模

2025年 180億円
2034年 340億円

健康志向とレストラン需要で、
売り先は今後も増える見込み。

全国に、広げられる

全国の空き家xはたらきたい人。
道具も知識も、そのまま渡せる。
この仕組みは、どの町でも再現
できる。

出典：マーケットリサーチセンター「Japan Microgreens Market 2026-2034」（2026）※1.13億→2.12億米ドル、1ドル160円換算／総務省「住宅・土地統計調査」（2023）／厚生労働省「就労支援施策の対象となる障害者数/地域の流れ」（2025）

